

# 宮崎市観光エリアにおける予備的調査結果

# 宮崎市観光エリアの概要

- 本調査の対象となった事業所は2,680件である。

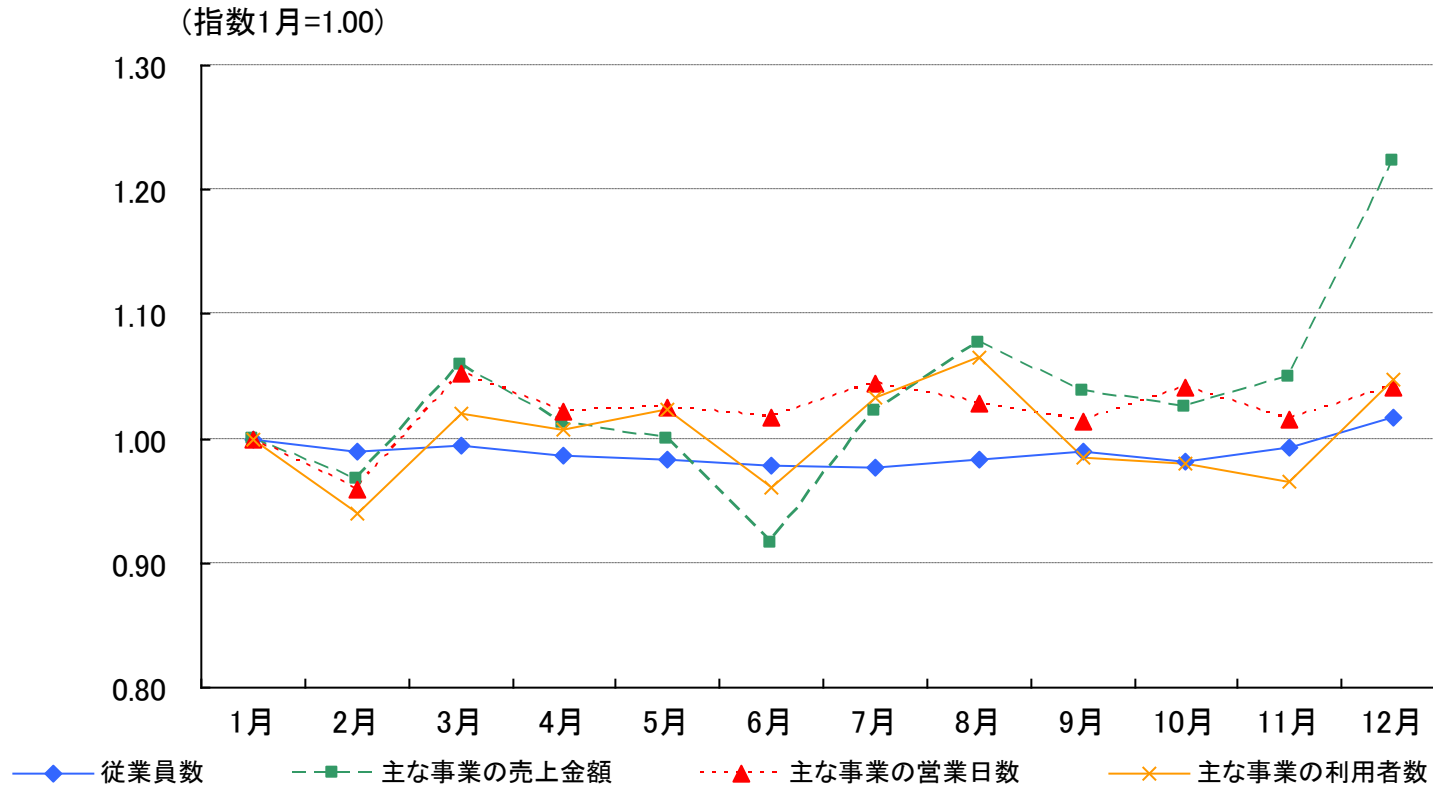
	観光産業 事業所数（件）
全国 （対象地域合計）	52,745
宮崎市観光エリア	2,680

宮崎市観光エリアで調査対象となった旧市区町村：  
旧宮崎市、旧高岡町、旧住吉村、旧青島村（宮崎県）

代表的な観光地点：  
宮崎神宮／平和台公園／青島神社／青島海水浴場／  
宮崎市フェニックス自然動物園

# 観光売上・利用者数の季節変動

- ・ 主な事業の売上の変動は緩やかであるが、3月、8月、12月にやや高くなっており、特に12月のピークが大きくなっている。
- ・ 利用者数の変動は8月がやや高くなっているが、利用者数と主な事業の売上の変動は概ね類似しており、消費額単価(円/人)が年間を通じて安定していると考えられる。



# 事業別観光売上割合

- ・ 主な事業に占める観光売上割合は2.0～71.6%であり、全体としては16.8%となっている。
- ・ エリア内で観光売上割合が高い事業は宿泊事業であり、全国と比べてもやや高い割合となっている。
- ・ その他の事業については全国と比べ概ね同様か低い割合となっている。

代表地域		全体	小売業	旅客運送 事業	物品賃貸 事業	宿泊事業	飲食サービス事 業	生活関連サービ ス、娯楽事業	社会教育 事業	不詳
全国	主な事業の売上(百万円)	5,151,082	2,861,539	423,935	100,895	417,630	778,564	462,627	74,526	31,366
	観光売上(百万円)	1,276,492	257,465	137,803	53,067	286,370	143,642	348,158	45,938	4,049
	(観光売上割合)	(24.8%)	(9.0%)	(32.5%)	(52.6%)	(68.6%)	(18.4%)	(75.3%)	(61.6%)	(12.9%)
宮崎市観光エリア	主な事業の売上(百万円)	271,523	143,788	23,365	1,239	13,046	58,838	26,250	1,412	13
	観光売上(百万円)	45,598	2,843	8,027	424	9,339	9,091	15,572	302	-
	(観光売上割合)	(16.8%)	(2.0%)	(34.4%)	(34.3%)	(71.6%)	(15.5%)	(59.3%)	(21.4%)	

# 観光需要に基づく資金の約45%が域内に循環している

回答事業所数 551事業所

**観光産業事業所**  
(年間仕入・外注費用計：7,733,654万円)

- 域内調達率上位3項目(5割以上)**
- 1. 飼料、肥料 100.0%
  - 1. 警備保障サービス 100.0%
  - 3. 清掃・洗濯サービス 89.6%
- 域内調達率下位3項目**
- 1. 電気製品 0.0%
  - 1. 情報処理・提供サービス 0.0%
  - 3. 繊維製品、皮革製品 2.1%

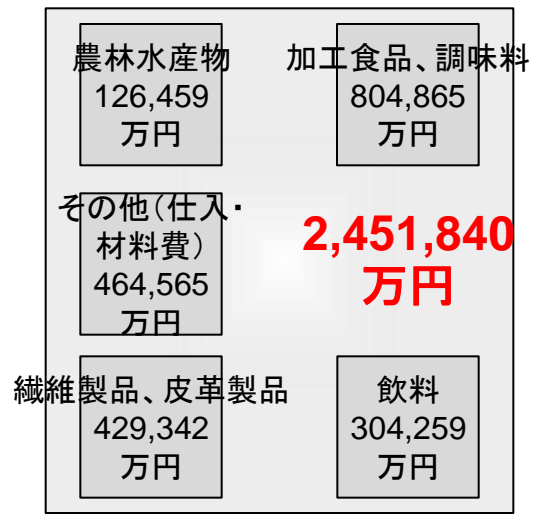
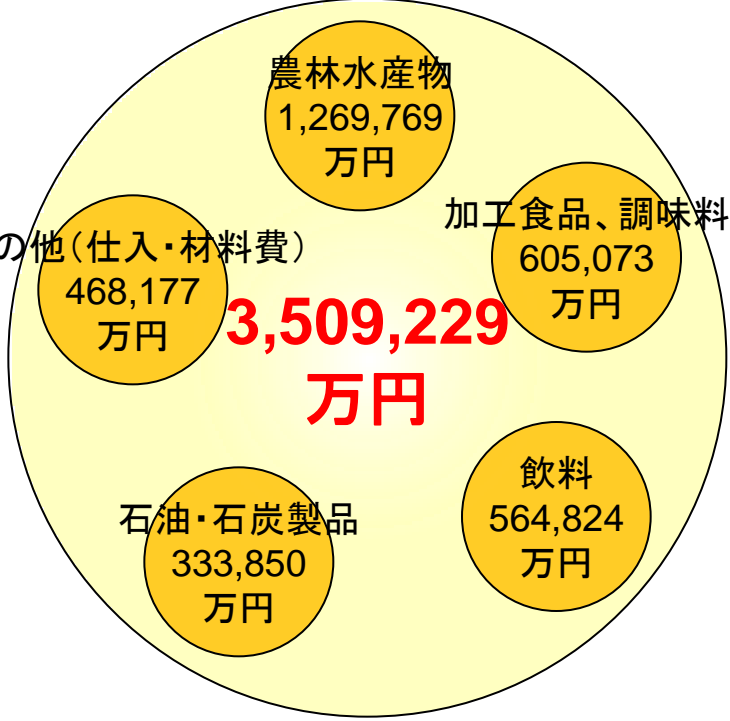
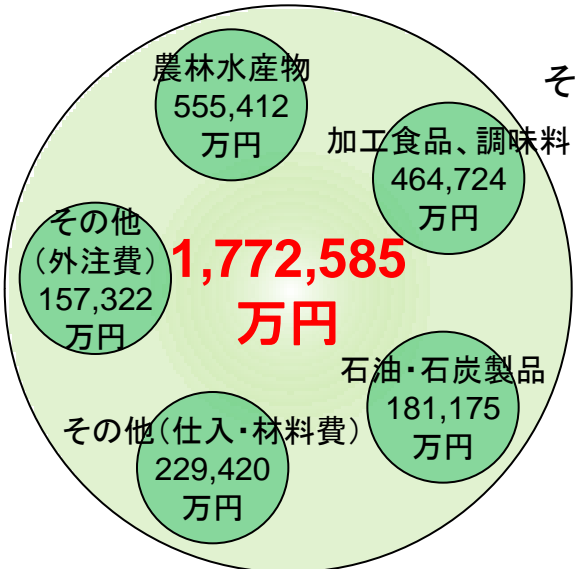
**市区町村内**  
(域内)

**45.4%**

**都道府県内**  
(他の市区町村)

**22.9%**

**他の都道府県** **31.7%**



# 平均売上額 個人経営:約1,400万円、法人経営:約1億8千万円

- ・ 個人経営では、売上(収入)金額の平均が費用総額を上回っている。
- ・ 法人経営の費用内訳では、仕入・材料費を除くと、販売手数料、従業員教育費が高くなっている。

## 個人経営

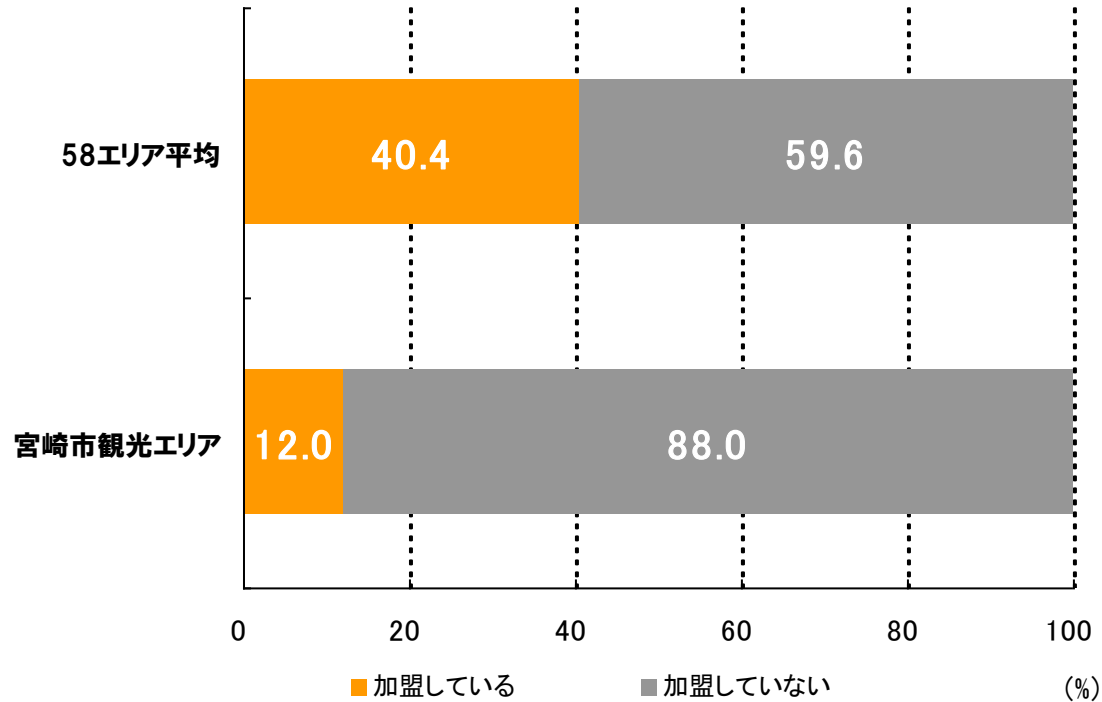
	平均
売上(収入)金額 (万円)	1,419
費用総額(売上原価+経費計) (万円)	1,156

## 法人

		平均
売上高 (万円)		18,027
費用	売上原価 (万円)	8,459
	販売費及び一般管理費 (万円)	9,388
費用内訳 (特掲)	仕入・材料費 (万円)	6,134
	外注費 (万円)	863
	販売手数料 (万円)	1,471
	広告宣伝費 (万円)	369
	従業員教育費 (万円)	1,233

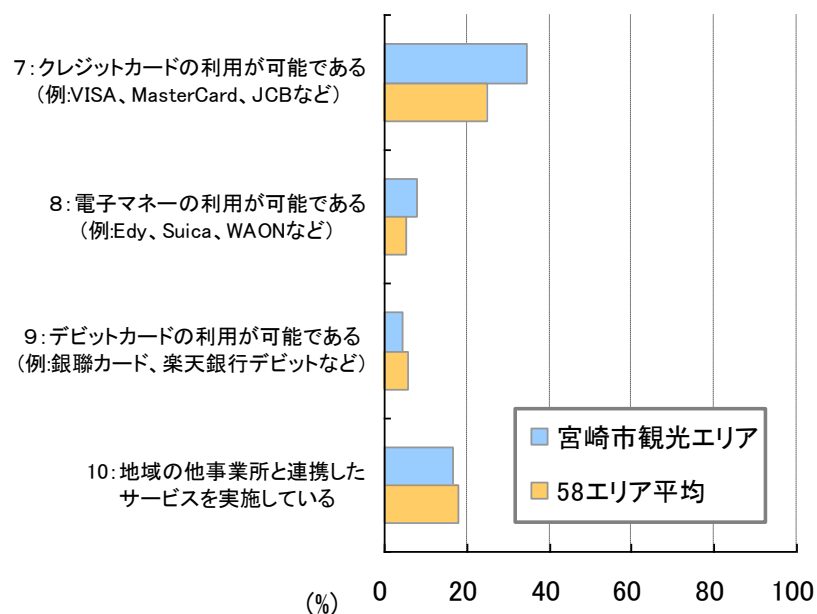
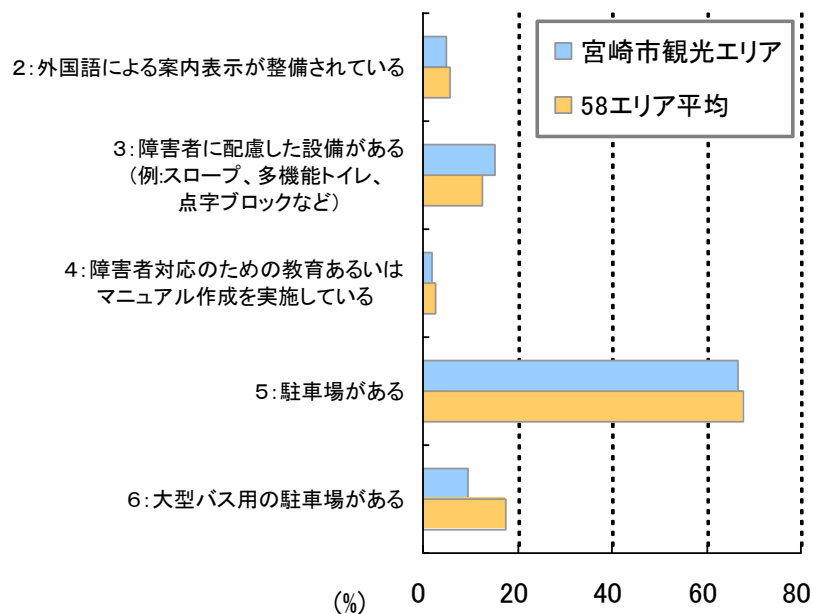
# 取り組みの内容[観光協会への加盟]

- 観光産業事業所の観光協会への加盟率は、宮崎市観光エリアで12%で、58エリア平均と比べて非常に低い割合となっている。



# 取り組みの内容[サービスの提供状況]

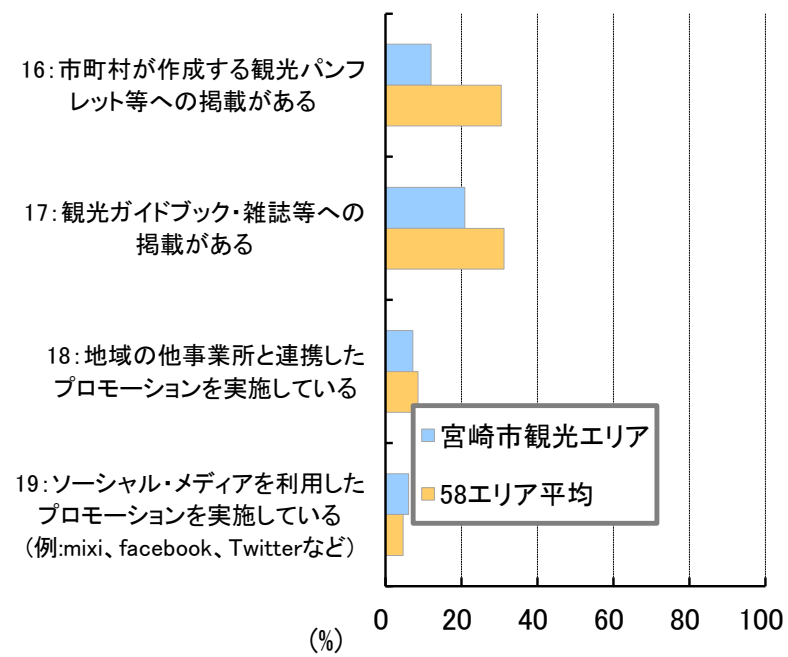
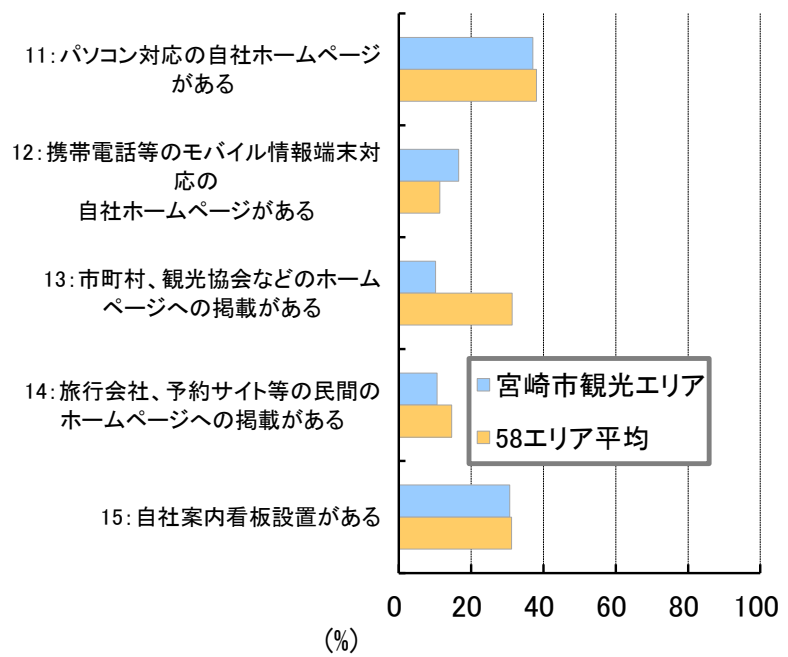
- 「3.障害者に配慮した設備」の割合が58エリア平均よりも高く、「4.障害者対応のための教育あるいはマニュアル作成」についても概ね58エリア平均と同様であり、障害者に配慮したサービスの整備が進められていると考えられる。
- 「7.クレジットカードの利用」、「8.電子マネーの利用」については58エリア平均よりも高くなっている。





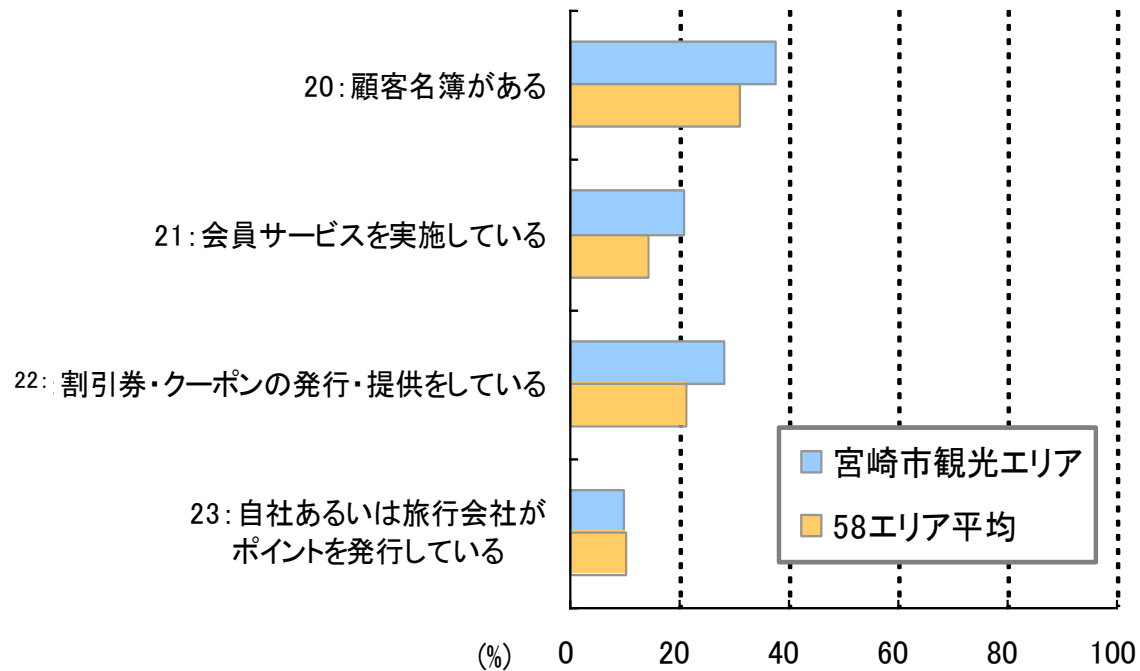
# 取り組みの内容[ 広告の実施状況 ]

- 「11.パソコン対応の自社ホームページ」、「12.携帯電話等のモバイル情報端末対応の自社ホームページ」、「15.自社案内看板設置」については概ね58エリア平均と同様、あるいは高くなっており、事業所自らによる広報活動に積極的であると考えられる。
- 「13.市町村、観光協会などのホームページ」、「14.旅行会社、予約サイト等の民間のホームページ」、「16.市町村が作成する観光パンフレット」、「17.観光ガイドブック・雑誌等」は58エリア平均より低く、これらの媒体への情報掲載にやや積極的ではない傾向がある。



# 取り組みの内容[マーケティング]

- マーケティングについては「23.自社あるいは旅行会社がポイントを発行」については58エリア平均よりやや低くなっているが、その他は概ね高い割合となっている。



# 電子商取引による売上の相手・手段の構成

- ・ 観光客個人(直接販売)への販売は約70%と58エリア平均をやや上回っているが、観光客個人(手数料支払販売)は58エリア平均を下回っている。
- ・ 企業・団体については58エリア平均と概ね同様の割合となっている。

代表地域		観光客個人 [直接販売]	観光客個人 [手数料支払販売]	企業・団体
58エリア平均	構成比	59.1%	22.0%	18.9%
宮崎市観光エリア	構成比	67.9%	11.9%	20.2%